

佐々町社協

福祉教室

開校日
令和2年
8月7日
(金曜日)



開校あいさつ(大浦会長)

毎年恒例の福祉教室。今年も佐々中学校から七名、清峰高校から十名、合計十七名の参加がありました。今年のテーマは「災害」。佐々町の防災対策、災害ボランティア活動に関する講義、非常食の炊き出し体験、水害を想定したグループワークと盛りだくさんの内容でした。

佐々町の防災対策は？



講師 佐々町役場 総務課係長 坂口様

役場総務課 係長 坂口様を講師にお迎えし、佐々町の防災対策に関する講義を受けました。大きな災害では行政（公助）がすべての現場に対応することは不可能であるため、日ごろから自分の身は自分で守ること（自助）、地域で協力し合うこと（共助）が減災につながるということを学びました。

非常用炊き出し釜



ほかに市販されている長期保存可能なインスタントの Pasta やピラフ、水で戻す餅も試食しました。

この時間は、実際に非常食を作りました。



ハイゼックス袋を用いた炊飯

非常食炊き出し体験

災害ボランティアを学ぶ



講師 長崎県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア課 宮田様、山本様

長崎県社会福祉協議会の地域福祉・ボランティア課に所属し、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援を経験されている職員お二人に、災害ボランティアについて講義をお願いしました。宮田様は、講義の前の週に熊本県で活動されたばかり。被災地の画像や動画を見ながら学習しました。ボランティアに年齢は関係ない。二歳児のボランティア活動のお話には驚きました。

クロスロードのルール説明



考え方は多様！

「もし災害に遭ったら…」場面に合わせてどのように行動するかを YES・NO 方式で答え、その理由について意見交換するクロスロード。

正解がある設問は一つもありません。考え方は答えが同じでも、理由が同じとは限りません。いろんな考え方があつて共有できました。

